

## 第 22 回沖繩科学技術研究基盤整備機構分科会 議事要旨

沖繩振興局総務課事業振興室

日 時：平成 23 年 8 月 8 日（月）13：30 ～ 15:45

場 所：中央合同庁舎 4 号館 共用第 3 特別会議室

出席委員：平澤分科会長、遠藤分科会長代理、伊集院委員、長岡委員

### 議事概要

#### 1. 沖繩機構からの補足説明

沖繩機構より、項目別評価表の追加添付資料 3-1、資料 26-2 に基づき、以下の項目について補足説明があった。

##### ○ 教員採用活動について

- ・ 500 名以上の応募があり、約 50 名の応募者が面接及び研究プレゼンテーションのため沖繩に来た。その中から 26 名に採用の申し出を行い、22 名が受諾した。
- ・ 新規採用の教員の半数は物理学の専門であり、今後、物理学分野を強化拡大していく予定である。

##### ○ うるま市の研究施設について

- ・ 現在もうるま市にある沖繩科学技術研究・交流センター及び工業技術センター（別館）等を賃借している。来年度の予算の状況等を考慮し、今後賃借を続けるかどうか判断予定である。

#### 2. 平成 22 年度業務実績

平成 22 年度業務実績の評価及び第 2 期中期目標期間の業務実績の仮評価について審議が行われた。

##### (1) 項目別評価表

委員の合議により、以下の項目については、A+評価とされた。主な発言は以下のとおり。

##### ○項目 3～7（研究者の採用活動について）

- ・ 採用活動は、国内外において広範に行われ、15 名の募集に対し、年度内に 569 名の応募があるなど、成功裏に行われた。

##### ○項目 14～17（大学院大学の設置準備について）

- ・ 学校法人移行及び開学に向け、平成 22 年 7 月に決定された初代学長予定者の主導の下、機構内で課題の共有・進捗管理が適切に行われ、計画的かつ組織的に取組が進められた。

○項目 27～29（効率的な事務事業の実施を確保するための取組の強化について）

- ・平成 22 年度中に専任の事務局長が配置され、その他の重要ポストについても担当者が配置されるなど、事務局体制は飛躍的に強化された。監事は、常勤体制の下、日常的な監査業務に努め、その所見を機構内の各種会議において役職員に伝達するなど、内部統制及びガバナンスの向上に努めているものと認められる。

その他の項目については、A 評価とされた。主な発言は以下のとおり。

○項目 19（管理運営業務の効率化について）

- ・今後の業務量の拡大に向け、ERP の活用及び効果的な組織づくり等により、一層の効果的・効率的な業務遂行に努められたい。

○項目 22・23（入札・契約の適正化及び調達事務の効率化について）

- ・「随意契約見直し計画」が着実に実施されている。一社応札の割合が高いが、研究機関の特殊性もかんがみれば、それほど悪い方ではないと思われる。

○項目 35～37（施設整備に関する事項について）

- ・昨年度、第 1 研究棟等の供用が開始され、第 2 研究棟と講堂の建設工事も開始されるなど、順調にすすんでいると認められる。ビレッジゾーンの整備も民間資金により建設する準備が進められるなど、順調に推移している。

○項目 45（社会的責任を果たすための取組 / 法令順守・倫理の保持について）

- ・廃棄物処理についても適切な取組がされていると認められる。今後も引き続き適切な処理に努められたい。

○項目 46・47（社会的責任を果たすための取組 / 地域社会との連携について）

- ・キャンパス施設の一部を一般開放するなど、地域社会との連携に向け積極的な取組を行っているのが認められる。知的クラスター形成に向けた活動等にも今後取り組んでいただきたい。

## （2）総合評価表

分科会委員より、以下の発言があった。

○法人の長等の業務運営状況

- ・主語の「理事長」のところに、「学長予定者と協働して」という文言を加える。

- ・監事についてのコメントは、「常勤体制」及び「日常的な監事監査に努め」という文言を追加する。
- ・昨年7月、学長予定者が決定されて以降、組織理念の共有や専門家によるリスク確認の検討をするなど、組織として動き始めたことが伺える。

(3) 中期目標期間の業務実績仮評価表

事務局より、機構の第2期中期目標期間の業務実績の評価について、夏の評価委員会で2年分の業務実績の仮評価を行い、機構解散後、最終的な評価を行うこととなる旨の説明があった。分科会委員からは、総合評価表と同様に修正を行う必要がある旨の発言があった。

3. 平成22事業年度財務諸表

- ・特に意見無し

4. その他

- ・事務局より、資料4に基づき、今後の評価の流れを説明した。

以上